

わが家の避難計画 記録的な台風が近づいているとき

1 避難先 避難先を確認してメモしておきましょう。状況に応じた避難先として、避難先①～③のすべてを確認しましょう。

原則: **早めの避難先** **逃げ遅れたら・・・** **その場そのときで命を守れる場所へ**

- 自宅・親戚宅・知人宅・職場など (市内に限らず浸水しない安全な場所)
- 最寄りの避難所 (浸水しない安全な場所)
- 最寄りの水害時 (津波) 避難ビル (最寄りの浸水しない安全な場所)
- 高い建物や高い場所 (最寄りの浸水しない安全な場所)

避難先① ○○市の祖父母宅

避難先② ○○小学校

避難先③ 隣の高層マンション

2 避難を開始するまでに何をするか を考えましょう。

情報収集

- 気象情報・避難情報を確認

避難の準備

- 非常持ち出し品・備蓄品を確認
- 必要なものの買い出し
- 家財等の2階等への移動開始
- 家の周りの点検
- 飛ばされそうなものの片付け
- 窓の施錠の確認
- 携帯電話の充電
- 避難所の開設状況の確認

連絡・声かけ

- 近所への声かけ
 - 避難の声かけをする 一緒に避難する
 - 名前 隣のおじいさん
 - 連絡先 (06) ××××-××××
- 避難の声かけをする 一緒に避難する
 - 名前
 - 連絡先
- 家族と連絡を取り合う (離れている場合)
- 避難の支援者に連絡 (自力では避難が困難な場合)

その他

-
-

3 いつ避難を開始するかいつ何をするか を記入しましょう。

▶ 2で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。
▶ 避難のタイミングを書き込みましょう。

わが家の避難計画

台風発生

台風の接近など大雨が予測されるとき 暴風警報級の可能性に言及 (気象庁)

府知事からの「府民へのメッセージ」などと連携した早めの避難の呼びかけ

緊急度

警戒レベル3 危険な場所から高齢者等避難

警戒レベル4 危険な場所から全員避難!!

警戒レベル5 緊急安全確保

高

記入欄 「いつ避難する?」「いつ何をするか?」

例) 避難場所を再確認しておく [みんな]

- ・テレビ・ラジオをつける [こどもたち]
- ・非常持ち出し品・備蓄品を確認する [母]
- ・避難経路・避難場所を確認する [みんな]

例) ○○市の祖父母宅へ避難する [みんな] この段階での避難先の目安 避難先①

- ・家族と連絡を取り合う [みんな]
- ・家の周りの点検をする [父]
- ・三輪車や植木鉢を家の中にしまう [母]
- ・携帯電話の充電を確認する [父と母]
- ・隣のおじいさんに連絡する [母]
- ・○○市の祖父母宅に車で避難する [母とこどもたち]

例) おばあちゃんとお母さんが親戚の家に避難する この段階での避難先の目安 避難先①、②

- ・隣のおじいさんを○○小学校へ避難させる [父]
- ・家財を2階へ移動する [父]

例) ○○小学校へ避難する [お父さんとこどもたち] この段階での避難先の目安 避難先①、②

- ・○○小学校へ避難する [父]

この段階での避難先の目安 避難先③

※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が重要です。

避難完了後 避難後には、家族や大切な人に無事避難したことを伝えましょう

連絡方法 携帯電話・災害用伝言ダイヤル等

家族の集合場所 ○○市の祖父母宅

避難情報が解除されるまでは、避難先からの外出や移動は極めて危険です。